

ふくい街角景気速報

(令和5年7月分)

調査期間 令和5年7月20日～27日 (回答率：91%)

概況

景気の現状判断DIは51.4となり、前月と比べ0.3ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは49.2となり、前月と比べ3.9ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 51.4 (前月比 ▲0.3)

- 家計動向関連では、前月に比べ 1.7ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 2.3ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.1ポイント低下した。

(意見の主な内容)

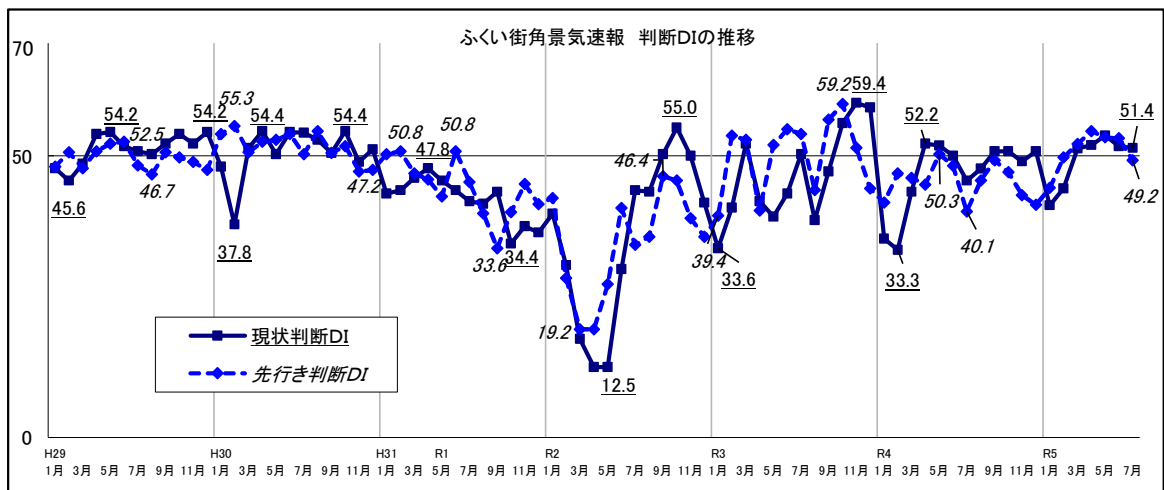
- マスクを外す人が以前より増えてきた。イベントも再開する所が増え、食事会、会合も飲食付に変わりつつある。(商店街)
- 電気料金の高騰や物価高など、依然として状況が変わっていない。(化学・プラスチック関連)

■景気の先行き判断DI 49.2 (前月比 ▲3.9)

- 家計動向関連では、前月に比べ 6.0ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 1.5ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.1ポイント低下した。

(意見の主な内容)

- 人流は維持されると予想しているが、客単価の低下、光熱費の増大も継続されると思われるため収益の確保という面では厳しい環境が予想される。(観光関係)
- 今年に入ってからの様々な物価の向上、今後大幅な電気代の値上げが控えていることから消費は控えめ志向が予想される。(眼鏡関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R5 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		44.2	51.3	51.9	53.6	51.7	51.4	▲0.3
家計動向関連		44.3	53.1	49.4	53.3	49.4	51.1	+1.7
小売		41.9	49.2	43.1	48.3	44.8	45.7	+0.9
飲食		41.7	70.0	75.0	75.0	62.5	60.0	▲2.5
サービス		52.3	56.8	56.3	56.8	56.3	60.4	+4.1
企業動向関連		41.7	47.9	52.3	50.8	50.8	48.5	▲2.3
製造業		40.4	48.0	53.1	50.0	47.9	47.8	▲0.1
非製造業		45.0	47.5	50.0	52.8	58.3	50.0	▲8.3
雇用関連		52.3	54.2	60.4	62.5	62.5	60.4	▲2.1

○回答別構成比

	年 月	R5 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなっている		1.1%	2.1%	4.4%	1.1%	0.0%	2.2%	+2.2
やや良くなっている		18.9%	28.4%	27.8%	34.1%	31.1%	31.9%	+0.8
変わらない		41.1%	46.3%	42.2%	44.0%	45.6%	39.6%	▲6.0
やや悪くなっている		33.7%	18.9%	22.2%	19.8%	22.2%	22.0%	▲0.2
悪くなっている		5.3%	4.2%	3.3%	1.1%	1.1%	4.4%	+3.3

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R5 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		49.7	52.1	54.4	53.3	53.1	49.2	▲3.9
家計動向関連		51.0	52.1	54.4	52.2	53.3	47.3	▲6.0
小売		45.2	50.0	52.6	48.3	48.3	43.1	▲5.2
飲食		54.2	60.0	75.0	60.0	68.8	55.0	▲13.8
サービス		65.9	54.5	52.1	59.1	60.4	54.2	▲6.2
企業動向関連		47.9	50.7	52.3	50.8	52.3	50.8	▲1.5
製造業		45.2	50.0	51.0	47.9	50.0	50.0	+0.0
非製造業		55.0	52.5	55.6	58.3	58.3	52.5	▲5.8
雇用関連		50.0	56.3	60.4	64.6	54.2	52.1	▲2.1

○回答別構成比

	年 月	R5 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなる		2.1%	4.2%	4.4%	4.4%	2.2%	0.0%	▲2.2
やや良くなる		33.7%	33.7%	30.0%	27.5%	23.3%	25.3%	+2.0
変わらない		32.6%	30.5%	47.8%	48.4%	62.2%	51.6%	▲10.6
やや悪くなる		24.2%	29.5%	14.4%	16.5%	8.9%	17.6%	+8.7
悪くなる		7.4%	2.1%	3.3%	3.3%	3.3%	5.5%	+2.2

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	企業 動向	丹南	食料品製造関連	ふくいdeお得クーポンを使用する旅行者が多かった。
②やや良くなっている	家計 動向	福井	商店街	来街者も増加しつつあり、駅前も少しずつ活気が出ている。それにより売りも増加している。
		奥越	飲食関連	夏休みに入って恐竜博物館も再開したから。
		嶺南	観光関係	6月は少し勢いがなくなる場面もあったが、7月はインバウンド・国内旅行とも堅調。夏に向かったの先行予約も順調かと思われる。
		坂井	観光関係	コロナの感染者数に対しての話題が少なくなり、行動制限する人が少なくなった。マスクの着用も減った。
	企業 動向	丹南	電気機械関連	各社、昇給額が例年より多く感じている。
		福井	銀行等金融関連	個人消費が回復傾向にあり対面型サービスを中心に持ち直しの動きがあった。一方で、食品など生活必需品の値上げや、電気代を含むエネルギー価格の高騰などが景気回復の足かせになっている。
	雇用	嶺南	労働相談員	7月の相談内容を検証すると、退職に関する相談が多くなっている。その背景には景気が良くなり、コロナで我慢してきた会社を辞め、新しい会社に移るのではないかと推測される。
		福井	学校就職担当者	県内の求人件数が多く、初任給をアップしている企業が多いように思う。
③変わらない	家計 動向	嶺南	商店街	マスクを外す人が以前より増えてきた。イベントも再開する所が増え、食事会、会合も飲食付に変わりつつある。
		福井	百貨店、SC等	物価高等の影響でレジ客数が減少傾向。
		坂井	スーパー	売上高は堅調であるが、要因としては原料・原価値上げ等の影響で上がっている部分が多い。
		福井	サービス業関連	物価上昇に対し、所得が追い付いていない。
		福井	観光関係	4月以降、回復傾向は持続しているが大きな変動はない。ただし人流は維持しているものの国の支援対策が終了し、客単価がやや低下している。また、気温上昇とともに光熱費も上昇しているため収益が圧迫されている。
	企業 動向	坂井	繊維関連	良くなった部分もあるが、海外市場が依然厳しい状況であるため。
		丹南	眼鏡関連	エネルギー情勢や円相場など一向に改善の兆しがない。
		丹南	電気機械関連	中華圏において少しずつ回復傾向にあると考えているが、受注は大きく変化していないため。
		福井	化学・プラスチック関連	電気料金の高騰や物価高など、依然として状況が変わっていない。
		嶺南	その他製造関連	公共、民間工事とも仕事量が横ばい。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	物価や電気代高騰も続き、家計の費用増も継続しているため、なかなか積極的な消費行動に繋がらない。
	④やや悪くなっている	家計 動向	坂井	一般小売店
福井			百貨店、SC等	コロナ影響にて「イエナカ」需要の盛り上がりがあったが、直近、今後は外出、コト需要への消費傾向が強まる可能性が高い。
福井			百貨店、SC等	土日のセールに合わせてまとめ買いをしており、平日の集客が落ちてきている。単価が安くなる時を狙ってのまとめ買い。
嶺南			飲食関連	人は動いているが、じわじわ物価(ガソリン、パン、電気、ガスなど)が上がっており厳しい状況。
企業 動向		福井	眼鏡関連	コロナが落ち着いた時期から人々の購買志向がレジャーや飲食などに向いている事が予想され、その影響が生活必需品の購買意欲の不調に繋がっているのではないかと推測される。
		福井	一般機械関連	国内の商談・受注が停滞している。
⑤悪くなっている	企業 動向	福井	公社	燃料に対する政府からの補助金が減り、石油製品の価格が毎週値上げされている。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなる	家計動向	嶺南	商店街	現在少し感染が増えているようだが、以前の様な事はないので少し明るい兆しが見える。
		奥越	飲食関連	恐竜博物館が始まって県外からの観光客が増えると思う。
		嶺南	観光関係	インバウンドが企画ツアーを中心に先行予約が入っており、秋に向かって国内旅行も回復の兆しを見せている。
	企業動向	福井	化学・プラスチック関連	半導体不足の解消が進めば、一部製品が回復する見込み。
		福井	銀行等金融関連	コロナウイルス5類に移行して初めての夏休みを迎え、対面型サービスを中心に個人消費の持ち直しが続くと思われる。一方で、物価や資源・原材料価格の高騰は続き、先行きは不透明。個人消費や生産に与える影響に注視が必要。
		福井	建設・不動産関連	株価好調でもあり全体的な雰囲気から。
	雇用	福井	学校就職担当者	求職状況が活発である。初任給を上げている企業が多い。
③変わらない	家計動向	福井	一般小売店	ふく割のクーポン利用も終わり、購買意欲が落ち着いていると感じている。
		坂井	一般小売店	物価高は今後も進んでいくと思うから。
		福井	一般小売店	新築住宅の完成など、家具の季節性需要が増えそうな期待感がある。
		福井	百貨店、SC等	円安、物価高など消費に繋がるような外的要因が良くなる兆しが見えてこない。
		坂井	百貨店、SC等	三国花火大会・お盆期間の帰省客の増加を期待。
		坂井	スーパー	コロナが落ち着き、リベンジ消費と言われる嗜好品を扱う業種は良くなると思うが、生活必需品を扱う業種では大きな変化はないと思われる。
		福井	コンビニエンスストア	コロナが再び流行るも、以前のような閉塞感が漂わなくなった。
	企業動向	福井	観光関係	人流は維持されると予想しているが、客単価の低下、光熱費の増大も継続されると思われるため収益の確保という面では厳しい環境が予想される。
		坂井	繊維関連	まだまだ市場は厳しく不透明であるが 回復傾向も若干みられるようにはなってきている。
		奥越	繊維関連	3か月先では大きな変化はないが、来期は一段の深刻さが表面化すると思う。
		丹南	電気機械関連	米中デカップリング、ウクライナ情勢など世界経済における見通しが不透明であるため。
	雇用	嶺南	労働相談員	この3か月間、労働相談件数も平均化していることから、今後の景気は横ばいになるのではないかと推測する。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	県内外からのUターンなど期待したい。一方、建設や介護の業種において、企業側は正社員の採用が難しい状況は続き、パート・派遣等の活用を図っている。
④やや悪くなる	家計動向	嶺南	一般小売店	価格上昇で消費に対する購買意欲が減ってきているため。
		丹南	百貨店、SC等	物価高や電気料金の値上げ、ガソリン代の高騰など悪くなる要因ばかりが目立ち、好転が期待出来るようなものが見当たらない。
		嶺南	飲食関連	様々な商品等のステルス値上げが増えそうな気がする。夏の暑さが収まれば、少しは変わるのか。
	企業動向	福井	サービス業関連	ガソリンの補助金などが打ち切られ、物価がさらに上昇。
⑤悪くなる	企業動向	福井	銀行等金融関連	今年に入ってからの様々な物価の向上、今後大幅な電気代の値上げが控えていることから消費は控えめ志向が予想される。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問 1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問 2】

質問 1 でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問 3】

将来の景気についての質問です。今後 2～3 か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問 4】

質問 3 でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)